

取扱説明書

除湿乾燥機

RFB500F



注 意

- この製品は「産業用」です。取り扱いには十分注意してください。
- この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
- 取扱説明書は必ず保管しておいてください。
- 本製品はフロン排出抑制法における第一種特定製品であり、四半期に1回以上の簡易点検が必要です。

巻末が保証書となっています。

大切に保管してください。

この取扱説明書は以下の2編より構成されています。

操作編.....1 ページより

据付編.....21 ページより

お買い上げありがとうございます。

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

より安全に、また良好な状態でお使いいただくためにこの「取扱説明書」をお読みになって、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全のため必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、 警告  注意 に 区分して表示してあります。




警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されるもの











注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定されるもの

また、 注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、使用者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

■図記号について

	 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は巻き込まれ注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、アースを接地してください）が描かれているものは、その行為を表します。
	 号記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。

操 作 編

もくじ

安全のため必ずお守りください	2
本体警告ラベル貼付位置	5
本機の性能を正しく発揮するために守っていただきたいこと	6
各部の名称	7
運転方法	8
安全装置	11
日常の点検・清掃	12
故障・異常の見分け方と処置のしかた	14
消耗部品／主要部品の保全周期	15
主要部品の保全周期	15
保管（長期間使用しない場合）	15
フロン排出抑制法における第一種特定製品について	16
廃棄について	18
オプション部品	18
アフターサービス	20

安全のため必ずお守りください

使用上の注意（警告）



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されるもの





	<p>改造はしない 改造された場合は、保証対象外となります。</p> <p>販売店または専門業者以外の方は絶対に分解、修理をしない 分解、修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災などの原因になります。</p>
	<p>濡れた手でスイッチ操作などをしない また、電源プラグなどの電気部品には触れないでください。 感電の原因になります。</p>
	<p>キャビネットを開けたまま運転しない 機械内部に触れるとケガ・感電の原因になります。</p> <p>製品や機械室に直接水をかけない また、水を使って洗わないでください。感電や火災などの原因になります。</p> <p>電源コードを破損したり加工しない 重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、はさみ込んだりすると電源コードが破損し、感電や火災などの原因になります。</p>
	<p>異常時は運転を停止し、販売店または専門業者にご相談ください 異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。</p> <p>漏電しゃ断器が作動したときは、販売店または専門業者にご相談ください 無理な電源の復帰をすると、感電・火災などの原因になります。</p> <p>移設は販売店または専門業者にご相談ください 据え付けに不備があると、水などの漏れ、感電・火災などの原因になります</p> <p>電源は専用コンセントを使用する 電源は専用コンセントを使用してください。電源コードの途中接続、タコ足配線などは、感電・火災などの原因になります。</p> <p>清掃・整備・点検のときは、元電源をしゃ断する 感電やケガ、火傷などの原因になります。</p>

安全のため必ずお守りください

使用上の注意（注意）

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定されるもの

	<p>電源プラグの抜き差しによる運転や停止をしない 感電やショートの原因になります。</p> <p>製品の上に乗ったり物を載せたりしない 転倒・落下によるケガ、こぼれた水による漏電などの原因になります。</p> <p>可燃性のスプレーを近くで使用しない また、近くに可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。</p>
	<p>フィルタを清掃するときは内部のフィンに直接手を触れない ケガの原因になります。蒸発器やドレンパンの清掃の際は、安全のため手袋などをしてください。</p>
	<p>空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れない 内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。</p>
	<p>電源プラグは定期的を確認する ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災などの原因になります。</p> <p>漏電しゃ断器の作動を定期的を確認する 漏電しゃ断器を故障のまま使いますと漏電のときに作動せず、感電の原因になります。</p> <p>譲渡されるときなどは取扱説明書を添付のこと このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めしてください。</p>

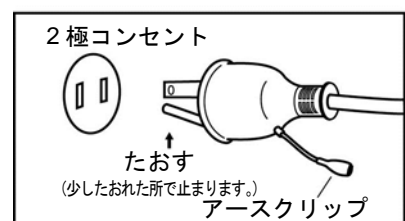
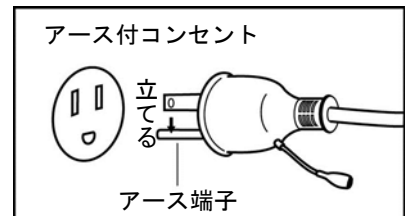
安全のため必ずお守りください

使用上の注意（注意）

⚠️ 注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定されるもの

	<p>使用時以外は電源プラグを抜くこと</p> <p>使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。 日常点検、手入れ時にも必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、プラグの先端を持って抜く</p> <p>コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・発火などの原因になります。</p> <p>長期間使わないときは、コンセントから電源プラグを抜く</p> <p>ホコリが溜まって発熱・発火の原因になります。</p> <p>電源プラグの差し込みは確実に</p> <p>電源プラグはホコリが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように根元まで確実に差し込んでください。 ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。</p>
	<p>アースを必ず接地すること</p> <p>アース付コンセントを使用してください。 アース端子が無い場合はアース工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針などに接続しないでください。アース工事が不完全ですと、感電の原因になります。 (電気工事者によるD種接地工事が必要です。)</p>





安全のため必ずお守りください

本体警告ラベルの貼付位置

本体警告ラベル貼付位置

次の警告ラベルは、重要警告事項の中から特に重要なものとして厳選されており除湿乾燥機本体に貼付されています。ご使用前に必ずお読みください。また、汚れ、キズなどで見えにくくなった場合には、お買上げの販売店に連絡し、新しいものに貼り替えてください。

▲ ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。 除湿乾燥機	
▲ 警告	▲ 注意
感電注意  危険な電圧のため、感電や火傷を起こし、死亡することもあります。 点検、清掃時は必ず元電源を切ってください。 必ずアースを接地してください。	巻き込まれ注意  ファンなどの回転部分に巻き込まれると裂傷などの傷害を起こす恐れがあります。 回転部分に手や指、棒などを入れないでください。 点検、清掃時は必ず元電源を切ってください。

ご使用前にぜひお読みください。

1. 運 転

- (1) 試運転時および元電源を24時間以上切った場合は、運転の12時間前に元電源を入れてください。
また、長期間本体を停止する場合およびメンテナンス時を除き、冷凍機保護のため元電源を切らないでください。
(RFB-1500、2200、3750)
- (2) ドレンタンク付きの場合、ドレンタンクが満水になると本機は自動的に停止します。運転スイッチを「OFF」にし、ドレンタンクを引き出して排水してください。(RFB-500)
- (3) 周囲温度が15℃以下になると、霜取運転のためファンが10～20分間停止する場合があります。(RFHを除く)
- (4) 運転を停止し再起動する場合は、必ず3分間以上経過してから起動してください。
- (5) 湿度調節器および温度調節器は、3分以内にコンプレッサが運転、停止を繰り返すような設定操作をしないでください。コンプレッサ故障の原因となります。


2. 日常点検

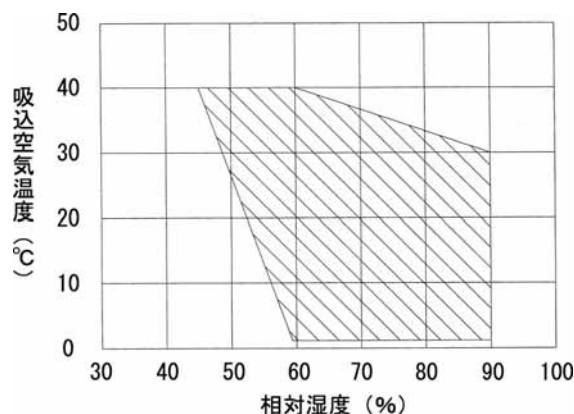
- (1) 空気吸い込みろフィルター、室外コンデンサ(RFB-Rタイプ)は、月に一回清掃してください。

04040960010



本機の性能を正しく発揮するために守っていただきたいこと

1. 次のような場所には設置しないでください。製品の故障、腐食の原因になります。
 - ・油（機械油も含む）の飛散・蒸気の多い場所
 - ・温泉地など硫化ガスの多い場所
 - ・可燃性ガスの発生・流入などの恐れがある場所
 - ・海岸地帯の塩分の多い場所
 - ・酸性またはアルカリ性の雰囲気のある場所
 - ・塵埃が多量にある場所（熱交換器の目詰まり）
2. 腐食性成分を発生させる品物（木材、海産物、線香乾燥など）の乾燥には使用しないでください。熱交換器が腐食し、ガス漏れなどの故障の原因になります。
3. 使用範囲に注意し、範囲内の温湿度で使用してください。指定範囲外で使用しますと、故障の原因になります。また、安全装置が作動して運転が停止する場合があります。



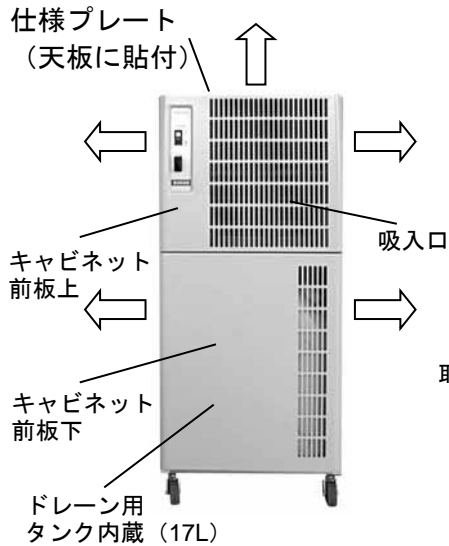
4. 周囲温度は1°C~40°Cの間で使用してください。
1°C未満で使用しますと、圧縮機の故障の原因となります。また、40°Cを超えて使用しますと、コンデンサの放熱効果が低下して、安全装置が作動し、本機の運転を停止することがあります。
5. ひんぱんなスイッチのON・OFFは故障につながります。一度運転を止めて、再び運転をする場合は、必ず3分以上経過してから運転してください。3分未満で再運転しますと、安全装置が作動したり圧縮機の故障の原因となることがあります。
6. 排風口に異物を差し込んだり、水をこぼしたりしますと、故障の原因になります。
また雨水の浸入のないように移動、運搬時および保管時には十分注意してください。
7. 吸込口と排風口には物を置かないでください。
8. 強い衝撃を与えないようにしてください。移動の際に除湿乾燥機を倒したり、落としたりしないでください。圧縮機が故障します。
高い所から落下しますと、キャスタが破損したり、キャビネットが変形しますので注意してください。
9. 運搬の際は、製品の横積みをしてください。変形や圧縮機の故障の原因となります。
10. 製品は、できるだけ室内の中央に設置してください。部屋全体に製品の乾燥空気がいきわたる様に設置してください。部屋が広い場合など、製品から遠いところでは空気の攪拌が行われず、場所により乾燥に差がでる場合があります。このような場合には、扇風機などで室内の空気の攪拌を行ってください。
11. 本機には、スイッチなど樹脂部品を使用しています。樹脂は油分・薬品・溶剤・洗剤などの影響により破損する場合がありますので、その様な雰囲気での使用や付着が無い様に注意してください。

各部の名称

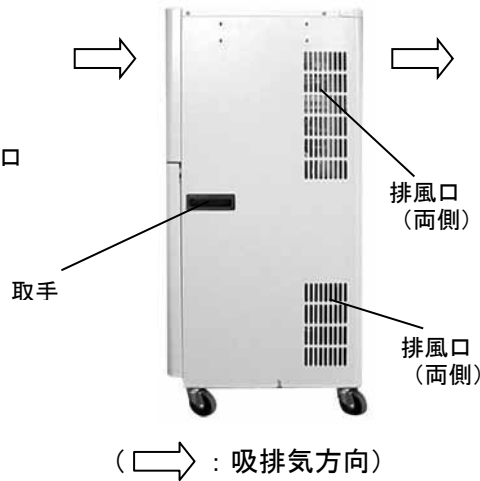
外観／操作部

外 観

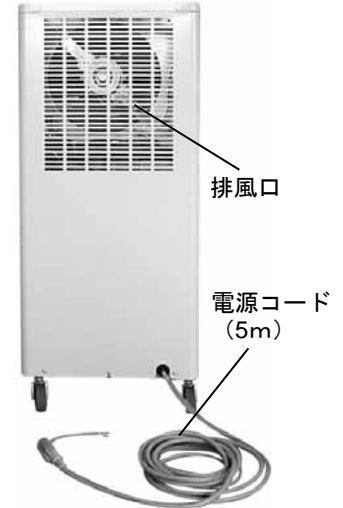
■正面



■右側面



■背面



操作部



運転スイッチ

湿度調節器
取付コンセント

運転スイッチ： 除湿乾燥機の運転停止を行ないます。

湿度調節器： オプションの湿度調節器を取付けます。
取付方法は「■オプション品の取付け」P17 参照ください。

運転方法



警告

- 濡れた手でスイッチ操作などをしないでください。また、電気部品には触れないでください。感電の原因になります。



警告

- キャビネットを開けたまま、または外したままでの運転は絶対にしないでください。機械内部に触れるとケガ・感電の原因になります。
- 製品や機械室に直接水をかけたり、水を使って洗わないでください。感電・火災などの原因になります。



警告

- 電源は専用コンセントを使用してください。また、電源コードは途中で接続したり、タコ足配線をしてしないでください。感電や発熱・火災の原因になります。
- 異常時は運転を止めてから元電源をしゃ断し、販売店または専門業者にご相談ください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。



注意

- 電源プラグの抜き差しによる運転・停止は行わないでください。感電やショートの原因になります。



注意

- 電源プラグはホコリが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災などの原因になります。

運転方法

■操作手順

●運動始動

- (1) 電源プラグをコンセントに接続してください。
- (2) ドレンタンクがキャビネット内に確実に納まっていることを確認してください。キャビネット前板下の外し方は「**■キャビネット前板の外し方**」(P13)を参照してください。
- (3) 運転スイッチを入ると運転ランプが点灯し、ファンが回転して左右、上部および後部より風が吹き出し、運転を開始します。



●運動停止

運転スイッチを切ってください。

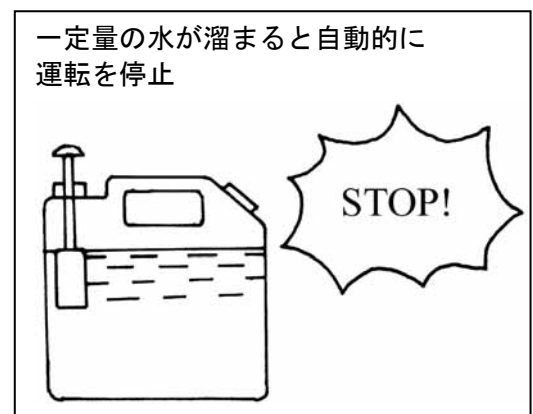
重要事項

- 始動の際はドレンタンクが所定の位置にあることを確認してください。所定の位置にない場合は、満水停止装置が働かず、床を濡らす原因になります。



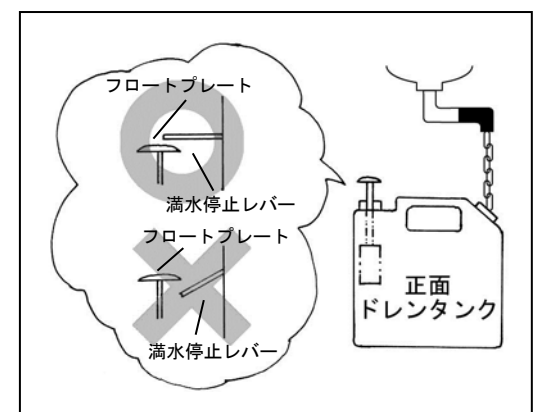
■排水方法

- (1) ドレンタンクを使用する場合
ドレンタンクに一定量の水が溜まると自動的に運転を停止し、運転ランプが消えます。水を捨てる時は、必ず**運転スイッチを切ってからドレンタンクを取り出し、排水してください。**
- (2) 直接排水する場合
直接排水する場合は、ホースをドレンパイプに接続して排水口等に導いてください。ホース（内径φ19mm）は別途お買い求めください。



重要事項

- ドレンタンクをセットするときは、必ず排水し、正規の位置（①ドレンパイプのチェーンがタンクの口に入っていること。②フロートが左側で、停止レバーがプレートの上にあること）になるようにしてください。水もれや満水停止装置の誤動作の原因となります。
- ドレンタンクには、熱湯や有機系溶剤、ガソリン等は絶対に入れないでください。変形、ワレ等により、水もれ、満水停止作動不良の原因になります。



運転方法

■移動方法

- (1) 運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (2) ドレンタンクの排水をしてください。
- (3) 天板を両手でささえ、倒さないように静かに移動してください。



■使用上の注意

- (1) 運転スイッチをひんぱんに操作しないでください。
ひんぱんに「ON」「OFF」にしますと故障の原因となります。
また、安全装置が作動して圧縮機がすぐに運転しない場合があります。一度運転を止めて再び運転をする場合は、必ず3分以上待ってから運転してください。



- (2) 周囲温度 40℃、相対湿度 60%を超えて使用すると圧縮機が過負荷となり、安全装置（過負荷リレー、高圧圧カスイッチ）が作動して運転を自動的に停止します。安全装置が作動した場合は、運転スイッチを「OFF」にして周囲の温度、湿度を下げ、3分以上待ってから除湿運転をしてください。
高圧圧カスイッチが作動した場合はドレンタンク奥にあるリセットスイッチを押してください。



運転方法

- (3) フィルタが目詰まりした状態で運転しても、同様に安全装置が作動して自動停止することがあります。フィルタの清掃をしてください。
- (4) 室温が 15℃以下の運転で蒸発器に霜が付いた場合は、自動霜取運転をして霜を溶かします。この時、ランプは点灯していますが送風が停止します。
- (5) 除湿乾燥機は運転時、モータや凝縮器から熱を発生します。このために室温が上昇することがあります。
- (6) 狭い所で閉めきって使用しますと、室温が 40℃を超え、圧縮機の安全装置が働いて、運転が止まることがあります。
- (7) 吐出口に異物を差し込んだり、水をこぼしたりしますと、故障の原因になります。
また、雨水の浸入がないように、移動、運搬時および保管時には十分注意してください。
- (8) 移動の際は運転を止めて、電源プラグをコンセントからはずしてください。
- (9) 強い衝撃を与えないように、移動、運搬時には十分注意してください。

安全装置

装置のなまえ	除湿乾燥機の状態		はたらき
	圧縮機	ファン	
高圧圧カスイッチ	停止	停止	周囲温度が高い、ファンモータの故障、拘束、フィルタの目詰まりなどで、冷媒圧力が異常に上昇した場合に作動し、電気回路をしゃ断し、圧縮機、ファンの運転を停止します。
過負荷リレー	停止	運転	圧縮機のモータに異常が起きたり過電流が流れた場合、電気回路をしゃ断し、圧縮機の運転を停止します。
満水停止装置	停止	停止	ドレンタンクを使用している状態で、ドレンタンクが満水になった場合に、電気回路をしゃ断し、圧縮機、ファンの運転を停止します。
デフロストサーモスタット (霜取り装置)	運転	停止	蒸発器に霜が着き蒸発器が設定温度に達すると、ファンモータを停止させ霜取りをします。霜が溶け終わると通常の除湿運転になります。
圧縮機用 過電流継電器	停止	停止	圧縮機のモータに異常が起きたり過電流が流れた場合、電気回路をしゃ断し、圧縮機の運転を停止します。

日常の点検・清掃



警告

- 濡れた手でスイッチ操作などをしないでください。また、電源プラグなどの電気部品には触れないでください。感電の原因になります。



警告

- 製品や機械室に直接水をかけたり、水を使って洗わないでください。感電や火災などの原因になります。



警告

- 点検・清掃でキャビネットを外した場合は、作業終了後キャビネットを取り付けてください。キャビネットを開けたまま、または外したまま運転されると機械内部に触れ、ケガ・感電の原因になります。



注意

- 清掃・整備・点検のときは、除湿乾燥機の運転を停止し電源プラグを抜いてください。感電やケガ火傷などの原因になります。



注意

- フロン排出抑制法に基づく簡易点検について
本製品はフロン排出抑制法における第一種特定製品であり、四半期に1回以上の簡易点検（異音、異常振動、損傷、腐食、錆び、油にじみ、霜付、温度、能力低下等の有無確認）が必要です。



注意

- フィルタを清掃するときは、内部のフィンに直接手を触れないでください。ケガの原因になります。

日常点検のめやす

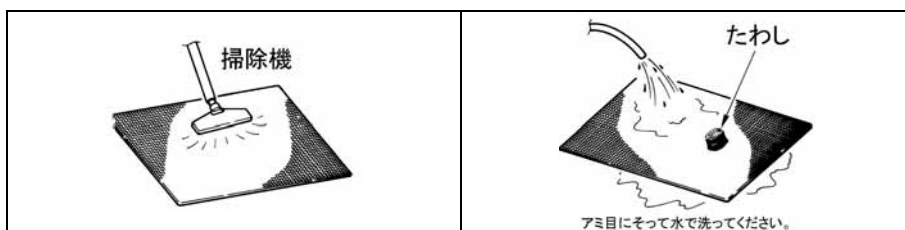
点検部品	点検項目	点検時期	備考
フィルタ	・フィルタの汚れの確認 ・本体の汚れの確認	1ヵ月毎	「フィルタの清掃方法」(P13)を参照してください。
キャスト	変形・破損の確認	6ヵ月毎	目視確認
フロート組立	変形・破損の確認	6ヵ月毎	目視確認

日常の点検・清掃

1ヶ月毎に

1ヶ月毎に

1. 本体表面の汚れは、中性洗剤を使用してふき取る。
2. フィルタ清掃
 - 1) フィルタはキャビネット前板上内にあります。
 - 2) フィルタの清掃方法
 - ①取り外して、掃除機でホコリを吸う。
 - ②汚れがひどい場合は、洗剤を含ませた水で洗い日陰でよく乾かしてから取り付ける。



■キャビネット前板の外し方

- 1) キャビネット前板下を外す。

キャビネット前板下はマグネットにて固定されていますので手前に引き (①) 上へ引き上げる (②)。
- 2) キャビネット前板上を外す。

固定ねじを外し (2ヶ所) 上へ引き上げる (③)。



重要事項

- 清掃後、フィルタを取り付ける際は、キャビネット前板上のスリット部が完全にふさがれる様に取り付けてください。
- 熱湯洗浄や火であぶったりしないでください。
- 運転時には、必ずフィルタを取り付けてください。ゴミなどを吸い込むと、故障の原因になります。
- 破損したフィルタは、使用しないでください。なお、フィルタは消耗部品として用意されていますので (P15「消耗部品」参照) 必要に応じて交換してください。

故障・異常の見分け方と処置のしかた

故障・異常早見表



警告

- 異常時は運転を止めてから電源プラグを抜いて、販売店または専門業者にご相談ください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。



注意

- 処置のときは、除湿乾燥機の電源プラグを抜いてください。感電やファンによるケガなどの原因になります。

故障・異常早見表

状態	原因	処置方法
圧縮機ファンモータともに運転しない。	高圧圧カスイッチの作動	・周囲温度を仕様の範囲内にしてください。 ・フィルタを掃除してください。 ・対策後リセットボタンを押してください。
	満水停止装置の作動	・ドレンタンクの水をすててください。
	電気がきていない	・停電、ヒューズ、ブレーカを確認してください。
	プラグとコンセントの接触不良	・確実に接続するよう差込んでください。
	運転スイッチの不良	・販売店に連絡してください。
	満水停止装置の不良	・販売店に連絡してください。
	圧縮機用過電流継電器の作動	・販売店に連絡してください。
ファンモータだけ運転しない。	デフロストサーモによる霜取中	・運転スイッチオンのまま、霜が溶けるのを待ってください。
	ファンモータの故障	・販売店に連絡してください。
圧縮機だけ運転しない。	過負荷リレーの作動	・周囲温度を仕様の範囲内にしてください。 ・販売店に連絡してください。
	過電流継電器の不良	・販売店に連絡してください。
	圧縮機の不良	・販売店に連絡してください。
	過負荷リレーが復帰していない	・しばらく待ってから運転スイッチを入れてください。
運転するが除湿量が少ない	フィルタの汚れ	・フィルタを掃除してください。
	ガス漏れ	・販売店に連絡してください。
蒸発器が凍結する	デフロストサーモの不良	・販売店に連絡してください。
ドレンタンクが満水になっても運転が停止しない	満水停止装置の故障	・販売店に連絡してください。
	満水停止装置の作動不良	・フロートプレートと満水停止レバーの位置を確認してください。

重要事項

- 再起動は本機停止後3分以上待ってから行なってください。圧縮機の故障の原因となります。
- 満水停止装置が作動した場合は、運転スイッチを切ってからドレンタンクを取出してください。スイッチを切らないと、タンクを取り出した際、運転を開始します。

消耗部品

点検交換部品

点検交換部品（点検時の消耗状態に応じて交換する部品）

	部品番号	部品名称	員数/台	点検時期	交換判定基準
1	03036813030	フィルタ	1	1ヵ月毎	破損、破れの有無
2	35350101230	キャスト	4	6ヵ月毎	破損の有無
3	03080848010	フロート組立	1	6ヵ月毎	破損の有無

※時間は、使用状況（周囲温度、設置環境等）により異なりますので、目安としてください。

主要部品の保全周期

使用状況によっては交換の必要性が発生する時間の目安

	部品番号	部品名称	員数/台	※保全周期	備考
1	0A000926010	圧縮機	1	20,000Hr	
2	0A000673010	ファンモータ	1	20,000Hr	

※記載されている時間は、摩耗故障域に達する可能性が高くなる時間です。

これらは、設置環境等により異なる場合がありますので、必ずしも時間通り交換する必要はありませんが、異常時は交換修理願います。

※稼働率は、通常使用状態で10時間/日、2,500時間/年と仮定しております。

（日本冷凍空調工業会の業務用エアコン参照）

保管（長期間使用しない場合）

1. 電源をしゃ断する。
電源コードをコンセントから抜いてください。
2. ドレンタンク内の水を排水する。
3. ホコリ等の侵入を防ぐためにビニール袋等で覆い、保管してください。
4. 長期間保管後、再度使用する場合は、各部に異常のないことを確認後、「運転方法」（P8 参照）にしたがって運転してください。
※長期間の保管とは3ヶ月以上を表わします。

フロン排出抑制法における第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）

フロン排出抑制法における第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）について

本製品にはフロン（HFC）が使用されており、フロン排出抑制法（平成27年4月1日施行）における第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）として扱われます。機器の適切な管理および廃棄、修理について下記にご注意の上、実施願います。

■地球温暖化とオゾン層破壊の原因となるフロン類の排出抑制のため、第一種特定製品の管理者には次のことが法律で義務付けられていますので必ず守ってください。（違反した場合、その内容により1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられます。）

- ・機器の損傷等を防止するため、適切な場所への設置と設置する環境の維持・保全を行う。
- ・全ての機器を対象とする四半期に1回以上の簡易点検（異音、異常振動、損傷、腐食、錆び、油にじみ、霜付、温度、能力低下等の有無確認）と、冷媒回路圧縮機定格出力が7.5kW以上の機器については十分な知見を有するものが行う定期点検を実施する。
- ・何人も、製品に封入されているフロン類を、みだりに大気中に放出してはならない。
- ・フロン類の漏えいやその可能性を見つけた場合、十分な知見を有する者による専門的な点検を実施する。（修理をしないでフロン類を充填することは原則禁止）
- ・適切な機器管理を行うため、機器の点検・修理、フロン類の充填・回収等の履歴を記録・保存する。
- ・フロン類漏えい量の算定と1000CO₂-t/年以上漏えいの場合は国への報告を行う。

■フロンの番号および封入量は、製品本体の製品銘板に記載してあります。

■フロンの地球温暖化係数（GWP値）は製品本体のプレートに記載してあります。

■本商品は特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。

■製品によっては点検に費用が掛かる場合がございますので、ご負担をお願いします。

■フロン類の充填・回収には費用がかかりますのでご負担をお願いします。なお、フロン類の充填・回収は、第一種フロン類充填回収業者（登録業者）にご依頼ください。おわかりにならないときは、販売店にお問い合わせください。

お客様用簡易点検表<チラー・除湿乾燥機・食品>

お客様名										
住 所										
設置場所					電話番号					
メーカー名					製造番号					
製品型式					管理番号					
圧縮機	kW × 台				冷媒 封	No.1	g	No.3	g	
冷媒種類	R134a	R404A	R407C	R410A	R22	入量	No.2	g	No.4	g

回 数	1	2	3	4
点検日(年月日)				
点検者名				

点検項目

1. 機器周囲	1	2	3	4
周囲温度	℃	℃	℃	℃
機器周囲整理整頓	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否
清 掃 (否の場合)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)
点検・修理スペース	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
周囲の異常振動	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
2. 機器外観				
キャビネットの汚れ・錆	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否
清 掃 (否の場合)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)
異常振動	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
凝縮器フィルタ (有・無)汚れ	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否
清 掃 (否の場合)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)
凝縮器汚れ	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否
清 掃 (否の場合)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)
凝縮器状態				
油にじみ	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
腐 食	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
※熱交換器状態				
油にじみ	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
腐 食	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
※熱交換器汚れ	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否
清 掃 (否の場合)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)
3. 機器内部				
水槽内の汚れ	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否
清 掃 (否の場合)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)
水槽内の水の入替え	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)	(実施 ・ 未実施)
異常音	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
圧送ポンプ圧力	MPa	MPa	MPa	MPa
実温度/設定温度	℃ / °C	℃ / °C	℃ / °C	℃ / °C
特記事項				

除湿乾燥機のみ記入

廃棄について

廃棄について

廃棄について

製品を廃棄するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準拠し、必ず専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理をしてください。

本製品を廃棄するときは、次の手順で処理を委託してください。

- ①「フロン排出抑制法」に準拠し、各都道府県指定のフロン類充填回収業者にフロン回収を委託する。
- ②フロン類破壊・回収処理の証明書交付を受けた上で、「廃棄物処理法」に準拠し、各都道府県指定の産業廃棄物処理業者に製品の廃棄を委託する。

オプション部品

オプション部品リスト

オプション部品リスト

	部品番号	部品名称	員数/台	備考
1	03107949010	湿度調節器組立	1	湿度調節用
2	03083646010	大型キャスター組立	1	φ100 自在ストッパ付
3	04083656010	吊り上げ取手組立	1	1セット2本
4	04083657010	風向板組立	1	上部吹出し防止

■オプション品の取り付け

(1) 湿度調節器（組立品番：03107949010）の取り付け

①取付方法

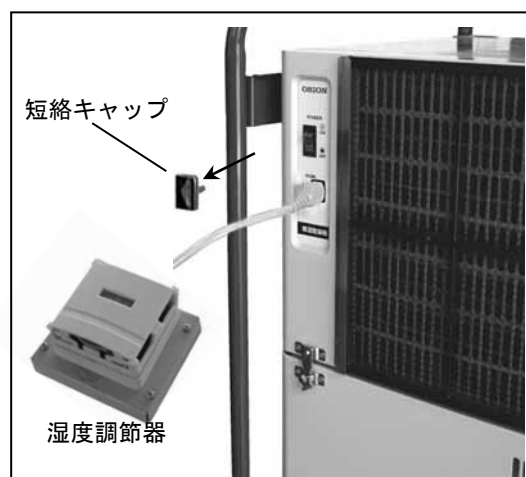
前面操作盤の湿度調節器用コンセントから、短絡キャップをはずし、湿度調節器のプラグを差し込んでください。

②湿度調節器の設置場所

近くに湿気や熱を発生するものがなく風通しのよい所、除湿乾燥機から吹き出す風の影響を受けない所で、床上高さ1.2m～1.5mの振動のない壁面などに取り付けてください。

③取り付け後の運転について

- 除湿乾燥機は湿度調節器の設定湿度によって、自動的に運転・停止を繰り返しますが、湿度設定値を低く設定しますと、除湿乾燥機は連続運転となります。このような時には、設定湿度を上げるか、除湿乾燥機の増設が必要になります。
- 湿度調節器は簡易型のため、調節器の目盛は目安としてください。
また構造上、15～30℃以外では10%以上ずれることがありますので、補正して使用してください。
- 部屋容積が小さい場合には、除湿乾燥機の1回の運転時間が短くなる場合があります。
1回の運転時間は、6分以上となる様に湿度設定器の設定を下げてください。
(設定例：室温30℃の場合、部屋容積70㎡で設定湿度50%以下)



オプション部品

オプション部品リスト

警告

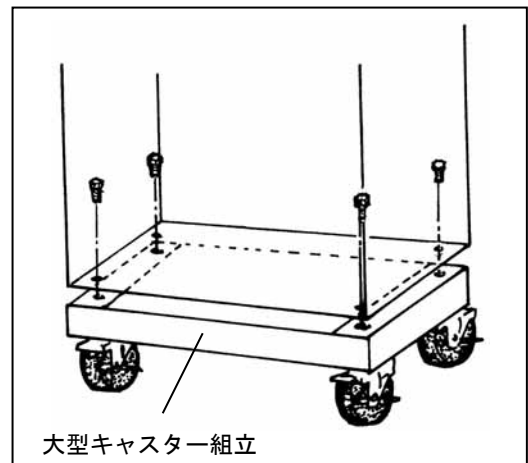
- 湿度調節器、短絡キャップの取り付け・取り外しの際は、運転を停止し電源プラグを抜いてください。感電の原因になります。

注意

- 危険ですのでコンセントを他の電気製品の電源としては、絶対に使用しないでください。
- 湿度調節器を他のコンセントに差し込まないでください。湿度調節器がショートし故障します。

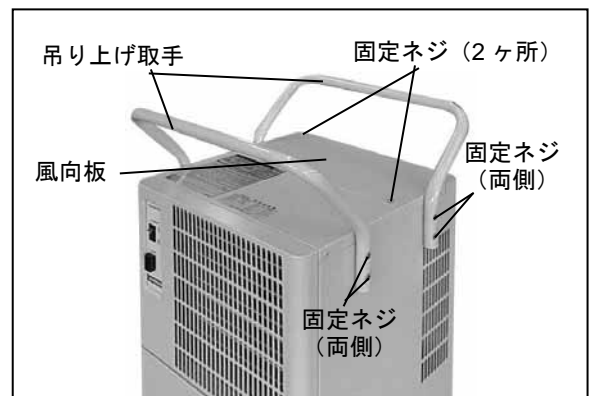
(2) 大型キャスター（品番：03083646010）の取り付け
取り付けは販売店または専門業者に依頼してください。

- ①キャビネットを外す。
- ②本機付属のキャスタ（φ50）を取り外す。
- ③オプションのキャスタベースに本機を付属のビスにて固定する。
- ④キャビネットを取り付ける。



(3) 吊り上げ取手（品番：04083656010）の取り付け
本機両側面上部に付いているプラスチッククリップを外し、付属の固定ネジ（M5×30 8ヶ）で吊り上げ取手を取り付けてください。

(4) 風向板（品番：04083657010）の取り付け
本機納入時、吹き出し口は、上部、後部、両側面にあります。天板を取り付けることにより上部から吹き出しを塞ぐことができます。



アフターサービス

■保証について

- ・巻末が保証書となっています。大切に保管してください。
- ・保証期間中でも消耗部品等有償となる場合があります。保証書をよくお読みください。
- ・保証期間経過後は有償修理となります。修理箇所及び修理内容や経過年数によっては新規購入をお奨めする場合がありますので、販売店にご相談ください。

■点検・修理を依頼される前に

- ・「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」(P14 参照)に従い確認、処置をしてください。
- ・その上で改善しない場合、またはご不明な点がある場合は、ご自身で修理なさらずに、お買い上げの販売店にご連絡願います。

■補修用性能部品について

- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後7年です。

■アフターサービスの依頼

- ・点検、修理をお申しつけのときは、次の事項を、お買い上げの販売店にお知らせください。
 - (1) 製品名
 - (2) 型式名
 - (3) 製造番号
 - (4) 現象（できるだけ詳しく）
 - (5) 住所、電話番号

■部品のお申し込みをされるときは、次の事項をお知らせください。

- (1) 型式名
- (2) 製造番号
- (3) 部品名称・部品番号・個数

据 付 編



据え付けは販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされて不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

もくじ

安全のため必ずお守りください.....	22
搬 入.....	23
据 付.....	24
仕様表.....	27
外形図.....	28
配線図.....	29

安全のため必ずお守りください

使用上の注意（警告）



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されるもの



	<p>据え付け工事は、この取扱説明書の据付編に従って確実に 据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。</p> <p>据え付けは、販売店または専門業者に依頼 ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。</p> <p>電気工事は、「電気設備に関する技術基準」および本取扱説明書に従って確実に また、必ず専用回路を使用してください。電源回路の容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。</p> <p>配線は、所定のケーブルを使用して確実に また、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。接続や固定が不完全な場合は、感電や発熱・火災などの原因になります。</p> <p>電源は専用コンセントを使用する 電源は専用コンセントを使用してください。電源コードの途中接続、延長コードの使用、タコ足配線などは、感電・火災などの原因になります。</p>
	<p>改造はしない 配線、配管の変更に不備があると感電・火災などの原因になります。また、改造された場合は保証対象外となります。</p>
	<p>安全装置の設定値は変更しない 設定値を変えると製品の破裂、発火の原因になります。</p> <p>可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据え付けしない 万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると発火の原因になります。</p> <p>腐食性ガス等の雰囲気での使用は絶対にさけてください 腐食による感電・冷媒漏れの原因になります。</p> <p>可燃物を近くに置かない スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。</p>
	<p>アース工事が必要です アース線はガス管、水道管、避雷針などに接続しないでください。アース工事が不完全ですと感電の原因になります。（電気工事者による D 種接地工事が必要です）</p>

安全のため必ずお守りください

使用上の注意（注意）

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定されるもの

	<p>据え付けは、製品の重さに十分耐える所に確実に また、水平になるように据え付け、転倒防止の処置をしてください。据え付けに不備があると水漏れ、転倒・落下によるケガなどの原因になります。</p> <p>漏電しゃ断器の取り付けが必要です 漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になります。</p>
	<p>凍結のおそれのある場所へは据え付けしない 使用中、タンク等の凍結による破裂から漏水し、家財などを濡らす原因になります。</p> <p>製品の上に乗ったり物を載せたりしない 転倒・破損・落下などによるケガの原因になります。</p>

搬入

搬入の前に／搬入方法

搬入の前に

- 搬入の前に、ご注文の製品かどうか仕様プレートでお確かめください。「各部の名称」(P7 参照)
- 製品の輸送、運搬、出荷、その他により製品に異常が発生することがあります。お手元に届いた製品に変形や傷等の異常がないかどうか、お確かめください。万一異常を発見された場合には、お買いあげいただいた販売店まで、お問い合わせください。

搬入方法

1. 重量物ですから搬入には十分注意してください。
2. 搬入は、安全に行ってください。
3. 取手を使用する場合は、足元に注意し、必ず二人で行ってください。

機種	質量
RFB500F	3 6 Kg

据 付

据付場所

据付場所



警告

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据え付けしないでください。万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると発火の原因になります。



注意

- 製品の重さに十分耐える丈夫で平らな床に、水平になるように据え付け、転倒防止の処置をしてください。据え付けに不備があると水漏れ、転倒・落下によるケガなどの原因になります。

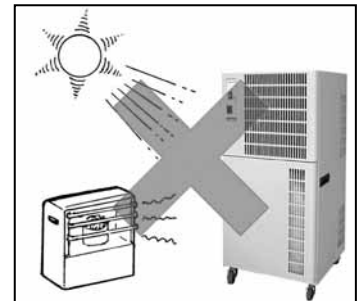
次のような場所には設置しないでください。製品の故障、腐食の原因になります。

- ・油（機械油も含む）の飛散・蒸気の多い場所
- ・温泉地など硫化ガスの多い場所
- ・可燃性ガスの発生・流入などの恐れがある場所
- ・海岸地帯の塩分の多い場所
- ・酸性またはアルカリ性の雰囲気のある場所
- ・塵埃が多量にある場所（熱交換器の目詰まり）

腐食性成分を発生させる品物（木材、海産物、線香など）の乾燥には使用しないでください。熱交換器が腐食し、ガス漏れなどの故障の原因になります。

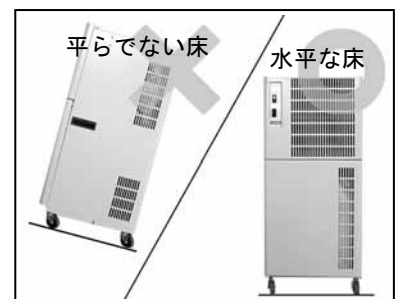
1. 近くに発熱器具のない所

発熱体から離れた所でご使用ください。日光やストーブなど、余分な熱があると、それだけ冷却効果が下がり、除湿能力が低下します。



2. 床が平らなところ

床が平らでないところに置きますと、機械が振動して故障、ドレンパンからの水漏れ等の原因になります。必ず水平な床に置いてください。（キャスタはストッパー付ではありませんので、回り止めを設置してください。）

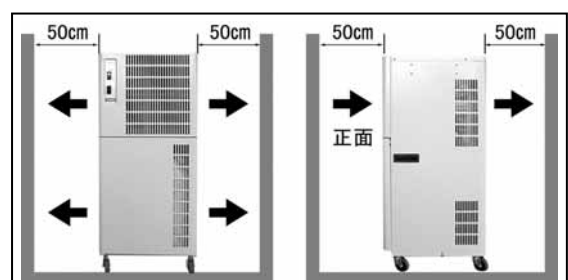


3. 通風を妨げない所

吸入口と吐出口のある所は通風を妨げないよう、他のものと50cm以上離してください。

4. 雰囲気

腐食性ガス、可燃性ガスのあるところでは絶対に使用しないでください。

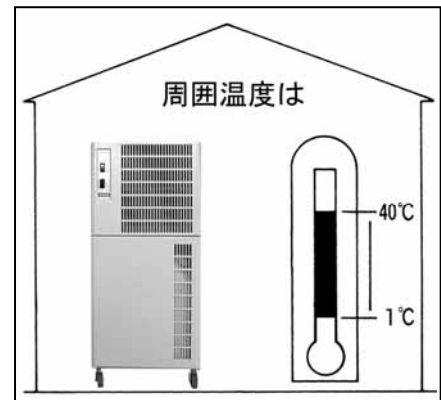


据 付

据付場所／電気工事

5. 周囲温度は、1℃～40℃の間で使用してください。
1℃未満で使用しますと、圧縮機の故障の原因となります。
また 40℃を超えて使用しますと、凝縮器の放熱効果が低下して、安全装置が作動し、本機の運転を停止することがあります。
6. 製品は、できるだけ室内の中央に設置してください。部屋全体に製品の乾燥空気がいきわたる様に設置してください。部屋が広い場合など、製品から遠いところでは空気の攪拌が行われず、場所により乾燥に差がでる場合があります。このような場合には、扇風機などで室内の空気の攪拌を行ってください。

製品ファン風量 (m ³ /min) 50/60Hz	8/9
---------------------------------------	-----



重要事項

- 本機にダクト等を取り付けしないでください。安全装置が作動し、運転を停止することがあります。

電気工事



警告

- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」および本取扱説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路の容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。
- 電源は専用コンセントを使用してください。電源コードの途中接続、延長コードの使用、タコ足配線などは、感電・火災などの原因になります。



警告

- 改造はしないでください。配線、配管の変更に不備があると感電・火災などの原因になります。また、改造された場合は保証対象外となります。



警告

- 安全装置の設定値は絶対に変更しないでください。設定値を変えると製品の破裂、発火の原因になります。



警告

- アース工が必要です。アース線はガス管、水道管、避雷針などに接続しないでください。アース工事が不完全ですと感電の原因になります。(電気工事者によるD種接地工が必要です。)



警告

- 漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

据 付

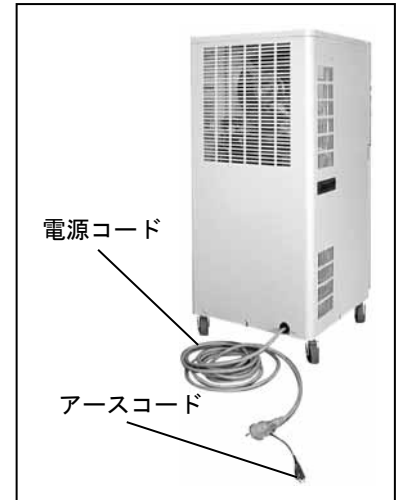
電気工事／ドレン排水工事

■電気配線

- (1) 電源は単相 100V、50/60Hz です。
- (2) 内部配線は完了しています。機械から出ている電源プラグを専用のコンセントに接続してください。
- (3) アースは必ず接地してください。2P プラグをご使用の際は、プラグからのアースコードを接地してください。
- (4) 過負荷保護および漏電による感電防止のため、必ず過負荷保護兼用型漏電しゃ断器を設置してください。
- (5) 電源電圧は定格の±10%の範囲内で使用してください。

電源 (V・Hz)	単相 100・50/60
最大運転電流値 (A)	9
しゃ断器容量 (A)	15
電源プラグ、電源線長	125V 15A・機外 5m

※感度電流 30mA 高速型をご使用ください。



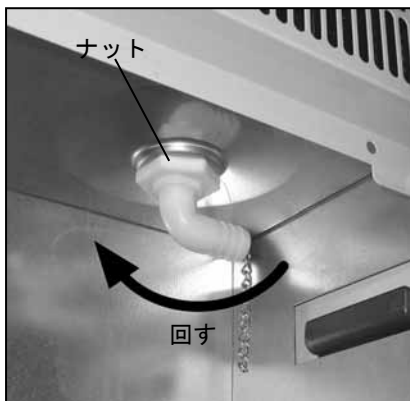
重要事項

- 電源投入時は、操作編の『運転方法』P8 を参照し、正しく使用してください。

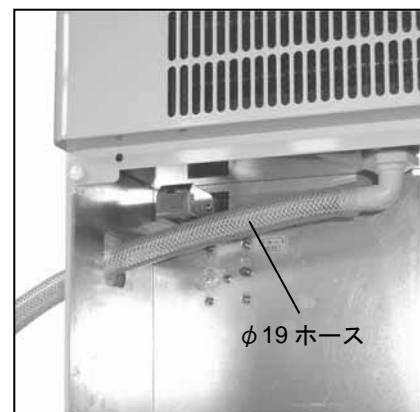
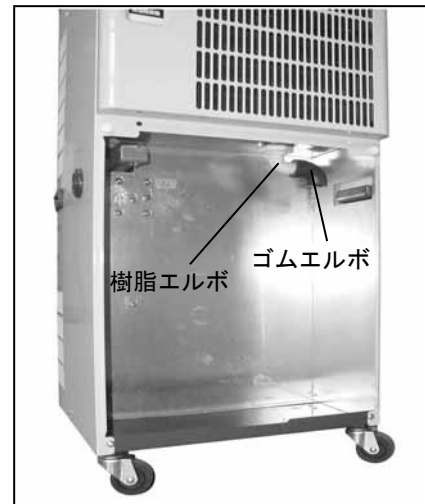
ドレン排水工事

■直接機外に排水する場合

- (1) ドレンタンクを取外します。
- (2) ドレン口の黒いゴムエルボを取外します。
- (3) ドレンパンの樹脂エルボナットを緩め、エルボを左側に向けナットを締付けます。



- (4) 市販の内径φ19 mmビニールホースを樹脂エルボに接続し本体左側の引出し穴から外部に排水します。この場合、途中に余裕を持たせ、曲がりなどによるつぶれや、立ち上がりがないように注意してください。配管後水漏れのないことを確認してください。

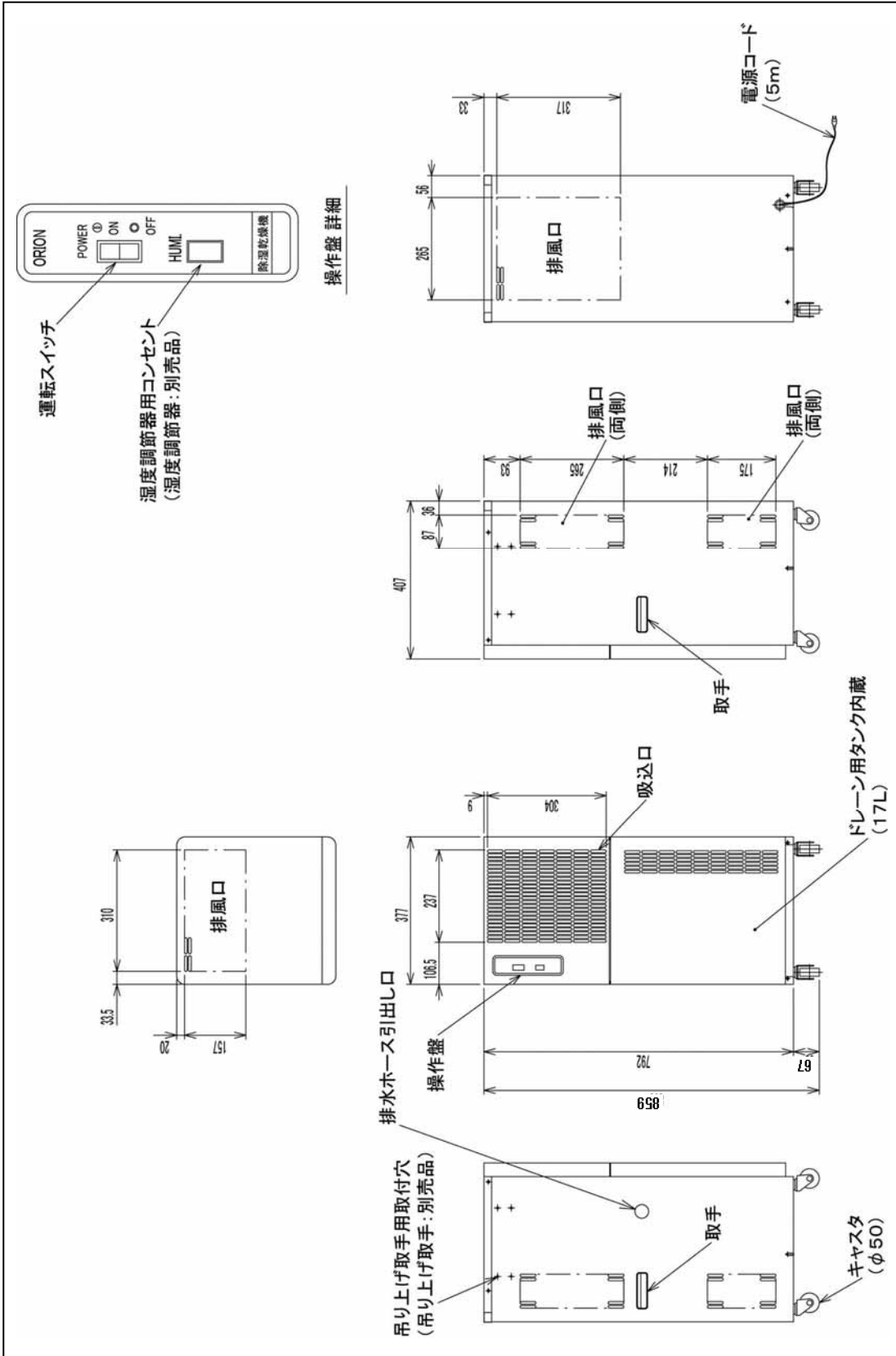


仕様表

型 式		RFB500F	
除湿能力	L/h	1.4/1.6	
使用温度範囲	℃	1~40	
外観		マンセル No.7.5Y7.5/0.5	
外形寸法（高さ×奥行×幅）	mm	859×407×377	
製品質量	kg	36	
電気特性	電源	V・Hz	単相 100±10%・50/60
	消費電力	kW	0.54/0.61
	電流	A	6.1/6.1
	電源容量	kVA	1.0
装置細目	圧縮機	W	470 ロータリー式
	凝縮器		フィンアンドチューブ型 強制空冷式
	送風機	W	10
	風量	m ³ /min	8/9
	冷媒制御装置		キャピラリチューブ
	冷媒		R-407C
	霜取装置		デフロストサーモスタット付
	湿度調節器		取付可能（別売品）
安全装置	圧縮機		過負荷リレー
			過電流継電器
	冷媒回路		高圧圧カスイッチ
付属品	排水用タンク		17L フロート式満水停止付
	電源コード		プラグ付 □2×5m
備考	<p>※1 除湿能力は吸入空気温度 30℃、相対湿度 80%時を定格条件として表示。</p> <p>※2 除湿能力は表示能力の 95%以上です。</p> <p>・オプション部品（別売品）</p> <p>①大型キャスター</p> <p>②吊り上げ取手</p> <p>③天板(風向板)</p> <p>④湿度調節器</p> <p>※3 排水ホース（現地手配内径φ19）による直接排水可能。</p>		

外形図

■外形図

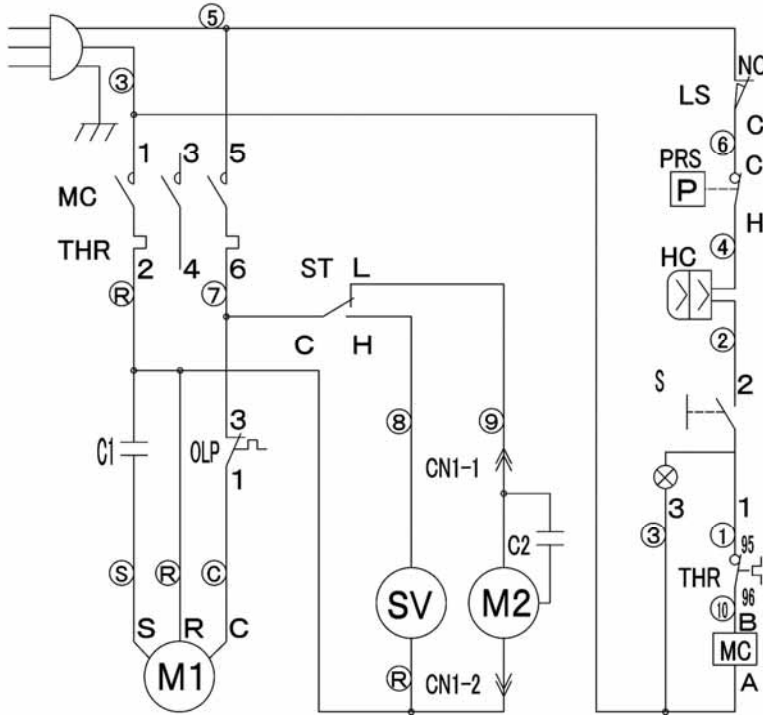


配線図

RFB500F

■ 配線図

AC100V 50/60Hz



記号	名称
M1	電動機(圧縮機モータ)
M2	電動機(ファンモータ)
SV	二方弁
MC	電磁接触器
THR	過電流継電器
C1	運転コンデンサー(M1用)
C2	運転コンデンサー(M2用)
OLP	過負荷リレー
ST	デフロストサーモスタット
LS	満水停止装置
PRS	高圧圧カスイッチ
HC	湿度調節器コンセント
S	運転スイッチ

メモ

メモ

メモ

保証書

本製品の保証内容は、下記のとおりです。保証修理をお受けになる場合は、機種名と製造番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店へご連絡ください。

1. 保証期間

お買い上げ後 (1) 冷媒回路 : 2年間 ただし、稼動時間 10,000 時間まで
(2) その他 : 1年間

2. 保証範囲

- (1) 上記保証期間中に当社側の責任による故障が発生した場合は、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される国・地域によっては修理対応ができない場合や時間を要する場合がありますので、日本国外で修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店に別途ご相談ください。
- (2) 取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。ただし、ご要望により当社サービス網がこの業務を代行することができます。この場合、故障原因が当社側にある場合は無償といたします。
- (3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理（保証対象外）とさせていただきます。
 - ① 仕様書・取扱説明書等に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等に起因する故障
 - ② 当社製品以外（お客様の装置やソフトウェアの設計等）の原因による故障
 - ③ 当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障
 - ④ 当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障
 - ⑤ 取扱説明書に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる故障
 - ⑥ 消耗部品（点検および定期交換部品）の交換
 - ⑦ 火災等の不可抗力による外部要因、および地震・雷・風水害等の天変地異による故障
 - ⑧ 当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
 - ⑨ 腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障
- (4) 個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。

3. 保証責務の除外

保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。

4. 用途限定

- (1) 本製品を重要な設備に適用する際は、本製品が故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップやフェールセーフ機能を設備側に設けてください。
- (2) 本製品は、一般工業向けの汎用品として設計・製造されています。したがって、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。
 - ① 原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途
 - ② 電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途



Product Warranty

This product shall be warranted as follows. For warranty repairs, please contact the dealer where the product was sold after confirming the product model and serial number.

1. Warranty Period

- (1) Refrigerant circuits : Two years the date of purchase, or 10,000 operating hours, whichever comes first.
- (2) Others : One year

2. What Is Covered by this Warranty

- (1) If breakdown occurs within the above warranty period and the cause of the breakdown lies with ORION, then the damaged part(s) will be replaced or repaired by ORION free of charge. Note that depending on the country/region where the product is being used, repairs may take more time or be impossible. Please consult with your dealer in advance regarding service and repair options for products to be operated outside of Japan.
- (2) In principal, the owner of the product will confirm diagnosis of the breakdown according to the operating manual. However, there might be cases where this work may be carried out instead by a member of ORION's service network. In such cases, there will be no charge where the cause of the breakdown lies with ORION.
- (3) Note that even during the warranty period, there will be costs incurred by the user (outside the warranty) in the following cases:
 - ① Breakdown resulting from operating under unsuitable operating conditions, environment, handling, use, or method of operation outside those written in the specifications or operating manual of the product, or as a result of carelessness or negligence on the part of the user.
 - ② Breakdown resulting from non-ORION products (user's own equipment or software design, etc.).
 - ③ Breakdown resulting from repairs or modifications conducted by non-ORION designated contractors.
 - ④ Breakdown which could be recognized as being avoidable in cases where an ORION product is used in conjunction with the user's equipment where the user's equipment is legally regulated to have a safety device whereby inclusion of the safety device could have averted breakdown, or in cases where the addition of function, structure, etc., could have, according to common knowledge of the industry, averted breakdown.
 - ⑤ Any breakdown which is recognized as being avoidable had normal fixed term inspections, and/or normal maintenance and replacement of consumables, been performed as indicated in the operating manual, etc.
 - ⑥ Replacement of consumables (parts to be replaced at fixed terms or based on inspection).
 - ⑦ Breakdown due to external factors beyond human control such as fire etc., or breakdown resulting from natural disaster such as earthquake, lightning, storm and flood damage, etc.
 - ⑧ Breakdown due to reasons unforeseeable due to the technological standard at the time the product was shipped from ORION.
 - ⑨ Any breakdown resulting from corrosion caused by operating the product in an atmosphere that contains corrosive gases, organic solvents, chemical solutions, etc., or in an environment where such substances could come into contact with the product.
- (4) In cases where a separate contract, etc. has been established, that contract will take priority.

3. Warranty Obligation Exclusions

Regardless of the warranty period, compensation for any of the following will not fall under the obligations of this warranty: any hindrance or accident compensation resulting from reasons not under ORION's obligations; any lost opportunities, lost profit, secondary losses, damages to non-ORION products incurred by users resulting from the breakdown of ORION products; and any replacement work, readjustment of on-site machinery and equipment, and operating work by users.

4. Product Use Limitations

- (1) When using ORION products in connection with important facilities, be sure to establish backup and/or failsafe measures so that even in the event of breakdown of such products, such breakdown will not lead to serious accidents or losses.
- (2) ORION products are designed and produced as general purpose equipment to be used in general industrial applications. Therefore, this warranty will not apply when used in the following applications: However, in cases where the customer/user takes full responsibility and confirms the performance of the product in advance, and takes necessary safety precautions, please consult with ORION and we will consider if use of the product in the desired application is appropriate.
 - ① Atomic energy, aviation, aerospace, railway works, shipping, vehicles (cars and trucks), medical applications, transportation applications, and/or any applications where it might have a great effect on human life or property.
 - ② Electricity, gas, or water supply systems, etc. where high levels of reliability and safety are demanded.

ORION MACHINERY CO., LTD.



オリオン機械株式会社

<http://www.orionkikai.co.jp>

サービスに関するお問い合わせは

CSセンター TEL 026-245-1263 FAX 026-245-5358
〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
E-mail : sijo@orionkikai.co.jp

- 北海道地区統括 北海道オリオン株式会社 TEL 011-865-3666
- 東北地区統括 東北オリオン株式会社 TEL 022-284-0691
- 北関東地区統括 関東オリオン株式会社 TEL 0276-46-7678
- 南関東地区統括 東日本オリオン株式会社 TEL 045-934-7011
- 甲信越地区統括 東日本オリオン株式会社 TEL 026-248-2428
- 東海・北陸地区統括 中部オリオン株式会社 TEL 0587-21-1717
- 近畿・中四国地区統括 関西オリオン株式会社 TEL 06-6305-1414
- 九州地区統括 西日本オリオン株式会社 TEL 092-477-8480

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
更埴工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291
千歳工場 〒066-0077 北海道千歳市上長郡1051-16

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買いあげ日		製造番号	
販売店名		店名	
		電話 () -	